

# 登別市 低炭素地域づくり面的対策推進事業（北海道登別市）

人口53,135人  
(H17国勢調査)

登別市では、観光客の移動や市民生活における自動車依存が大きい状況に鑑み、温泉街の宿泊施設が個別に実施している送迎バスの共同化や公用車を活用したカーシェアリング、バスのデマンド交通化等により、自動車への過度な依存を低減し、低炭素社会構築のための仕組みづくりについて調査を行うものである。

実施主体：登別市低炭素地域づくり推進協議会

（登別市観光経済部商工労政グループ、登別市市民生活部環境対策室、道南バス株式会社、NTT東日本北海道支店、登別市産業クラスター形成協議会、登別市環境保全市民会議）

## ①共同送迎バス運行事業導入可能性調査

現在は各ホテルが個別に実施しているバス送迎の共同化について検討し、CO<sub>2</sub>の削減を促進する。

- ・送迎バスの運行実態調査
- ・共同運行可能性検討調査



## ②低公害型カーシェアリング事業導入可能性調査

週末の利用の少ない公用車を低公害型にした上で、市民や観光客等とカーシェアリングすることにより、CO<sub>2</sub>の削減を促進する。

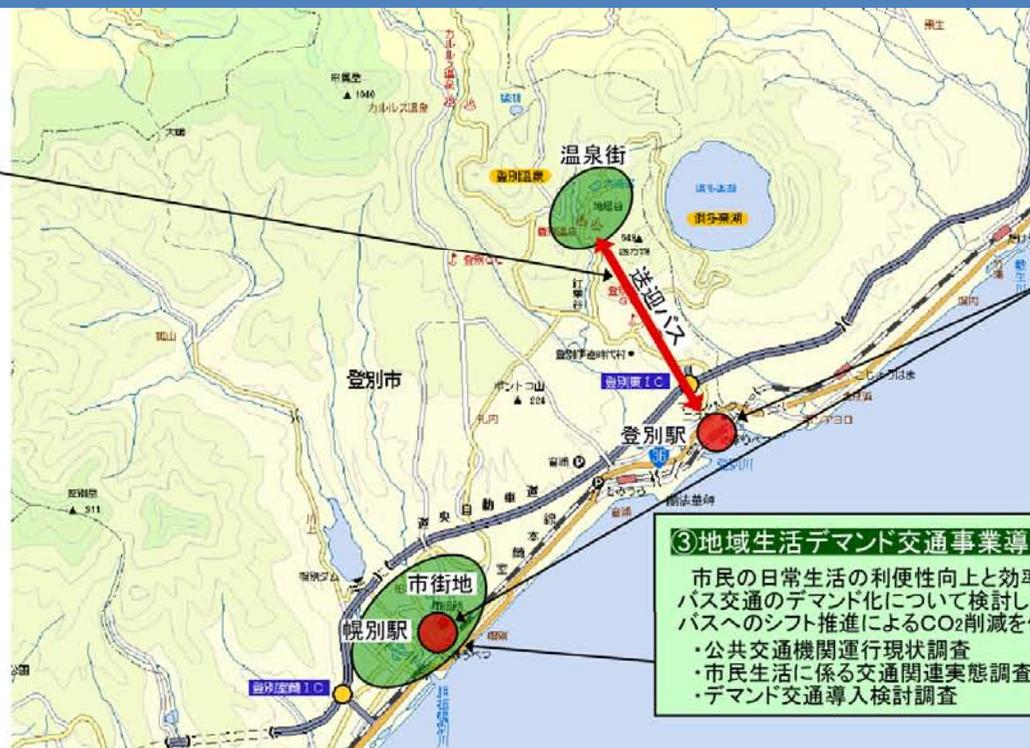
- ・公用車運行実態調査
- ・カーシェアリングのニーズ調査
- ・低公害型カーシェアリング事業可能性検討調査



## ③地域生活デマンド交通事業導入可能性調査

市民の日常生活の利便性向上と効率化を目的としたバス交通のデマンド化について検討し、自家用車からバスへのシフト推進によるCO<sub>2</sub>削減を促進する。

- ・公共交通機関運行現状調査
- ・市民生活に係る交通関連実態調査
- ・デマンド交通導入検討調査



## 平成20年度実施スケジュール

- ①10月～12月末 ②10月～12月末 ③10月～12月末

問い合わせ先：登別市観光経済部商工労政グループ 電話0143(85)2171